

私たち真加部西町地区の全住民は
以下の理由から
木質バイオマス発電所建設計画に

絶対反対!!

です!!!

1. 「発電所」と「木質チップ製造工場」の稼働による騒音、振動、匂い、煙、粉塵、火災の心配があります！
2. 燃料（木材）は大量の大型トラックにより搬入されることから、交通事故や騒音、振動、排気ガス、生活道路の破損が危ぶまれる！
3. これらは、この地域住民の健康被害や生活環境の悪化を招きます！
4. このような施設は集落の中心に建設されるものではない！

次ページからの概要を読んでご賛同いただき、
反対運動と署名のご協力をお願いいたします。

美作市真加部西町地区が確認した

「木質バイオマス発電所建設計画」について

令和6年6月12日（水）、午後6時より、真加部西町地区へ向けたバイオマス発電所および燃料となる木質チップ製造工場建設計画について説明会が開催されました。

事業者から、「今回の木質バイオマス発電事業により、市内に点在する放置林の森林整備を行いながら、発生した間伐材を主燃料として発電をおこなう。一連の業務に関する雇用も生まれる。」との説明を受けましたが、その事業計画は曖昧で、到底実現可能なものとは思えませんでした。

そしてなにより、今回の計画は発電所建設場所が真加部西町地内となっており、私たちが住む地区の中心部に計画されています。建設場所から20～30mの距離に住んでいる人もいます。

木質バイオマス発電とは、木質チップ（材木を砕いたもの）等を燃焼させ発電するものです。燃料の違いこそありますが、火力発電所です。このような集落の中心部に建設されるべき施設ではありません！！

私たちは、本事業が実施されることに対して次のような不安、心配があります。

○発電所の稼働について

・年間 330 日（定期修理 35 日）	24 時間稼働
・騒音、振動、匂い、煙	これらがどれほどのものかわかりません。
・火災の不安	米子バイオマス発電所では、2023 年にわずか半年間で 3 回の火災を起こしています。3 回目、2023 年 9 月には 爆発を伴う火災 でした。

○木質チップ製造工場の稼働について

・粉塵、騒音、振動、匂い	説明会では、この施設について何の説明もありませんでした。質問に対しても、「計画段階のため回答できない」とのことでした。木材を粉砕するため、その 騒音、振動、粉塵は発電所を上回る ものと思われます。
--------------	---

○燃料（木材）の搬入	
・大量の大型トラックの走行	1 年間に 11 万トンの燃料（木材）を使用するため、大量の大型トラックが走行します。その量は、 <u>1 日当たり 10 トン車で 50 台</u> 。日中の搬入であれば、 <u>5 分に 1 台の通行</u> となります。
・トラックの走行は燃料の搬入だけではない	発電所で使用する薬品の配送車、発生した灰を搬出するトラック等、どれだけのトラックが走るのか、十分な説明はありませんでした。
・搬出入経路は、通学路となっている	<u>小さな子供たち</u> はもちろん、地区の <u>高齢者</u> も頻繁に行き来している道路です。 <u>交通事故の可能性</u> が高くなります。
・騒音、振動、排気ガス、生活道路の破損	自宅から道路まで遮るものもなく、直接騒音が降りかかる家もあります。 <u>体を悪くして家で療養している方</u> もいます。大量の排気ガスで <u>ぜんそく等の呼吸器疾患にかかるリスク</u> も増えます。今まで通りの日常を送ることができなくなります。

！！このトラックの問題は、西町地区だけの問題ではありません！！

トラックの搬出入ルートが真加部方面からなのか、津山方面からなのかは現時点では不明ですが、これだけのトラックの往来となれば、西町に限らず搬出入ルート上にある地区の住民は危険と騒音にさらされます。

矢田、杉原、河内、真加部、学校の下も通ります。馬形や大町方面、大原から、作東から、英田から湯郷、入田、明見、豊国原、北山、下香山、吉、和田、市内のいたる所を走ります。

ですが、そのどの地域にも、今回の計画は説明されません。

国のガイドラインにより、説明する必要が無いからです。事業者は、事業進行に不利となることはしません。

**私たち真加部西町地区の全住民は、今回の
木質バイオマス発電所建設計画に絶対反対です！！**

どうかみなさん、自分自身に照らし合わせて考えてください。

ご賛同いただける方は、反対運動、署名にご協力お願いします。



事業者	美作バイオエナジー合同会社 大阪府茨木市高砂 3-10-23
計画地	美作市真加部 1144-1 (別添地図の場所)
事業趣旨	市内に点在する放置林の森林整備を行いながら、発生した間伐材を主燃料として発電をおこなう
発電規模	10 メガワット級 ※25,000 世帯の電力 1 年分に相当。美作市の世帯数が R6. 3. 31 時点で 12,261 世帯なので、美作市全世帯の 2 年分の電力を超える規模となります。

【参考】国内のバイオマス発電所の撤退、事故等

○兵庫県来市 関電の朝来バイオマス発電所 2016 年稼働、2022 年いっぱい停止。燃料（木材）が、世界的な木材価格を高騰させたウッドショックや、ロシアのウクライナ侵攻の影響で輸入を禁止したことで調達が難しくなったため。

朝来発電所の発電出力は 5.6 メガワットで、年間約 8 万トンの木材を燃やす。ざっと 13 万立方メートル。この量を安定的に調達しなければならないが、集まらない。

○2015 年稼働の茨城県の宮の郷木質バイオマス発電所も、2022 年 12 月一時停止。燃料が十分に集まらないため。

○米子バイオマス発電 2023 年に 3 回の火災を起こし、現在稼働停止。

その他撤退や事故、火災事例多数有り。